



# MORAMORA

マダガスカル通信 第1号 2022年7月18日

## マナオ - ナ Manao ahoana!

Manao ahoana! 青年海外協力隊としてマダガスカルで活動中の長谷川太郎といいます。大阪で小学校教諭をしてきたのですが、教師歴が長くなればなるほど、子どもたちに話せることが何もないのを痛感するようになってきました。マダガスカルで現地の人々といっしょに生活し、いっしょに活動した経験を帰国後、日本の子どもたちに伝えたいという思いから協力隊に参加しました。どうぞよろしくお願いいたします。

## MORAMORA はじめました

派遣先がマダガスカルに決まったとき、現籍校の校長先生がなぜか僕より熱心にマダガスカルについて調べてくれ、先輩隊員さんのマダガスカル通信が JICA ホームページに掲載されているのを見つけて教えてくれました。当時はマダガスカルという国がまったくイメージできず不安だったのですが、通信で生活や活動の様子を知ることができて助けられました。今後、協力隊を目指す方に少しでも恩返しができたらうれしいので、僕も通信を書かせてもらうことにしました。

冒頭で書いた「Manao ahoana」は、マダガスカル語で「こんにちは」という意味です。マダガスカル語はちょっとしたことを言うときでも長い…。「誕生日おめでとう」は「Arahabaina nahatratra ny tsingerin-taona nahaterahana」です。はじめ呪文かと思いました。タイトルの「MORAMORA」は「ゆっくり」という意味。読んでくれるみなさんにマダガスカルのゆっくりした雰囲気伝えたいのと、新たな土地でうまくいかないこともあってもできることをゆっくりやっていきたいと自分に言い聞かす意味を込めています。通信を月に一回、発行しようと思うので、「MORAMORA」の精神でのんびり気楽に読んでもらえるとうれしいです。発行のペースも「MORAMORA」になってしまったらすいません。おっと、マダガスカルの情報を何も伝えないままスペースがなくなってしまうかもしれません。また来月お会いしましょう～。



## 長谷川 太郎

出身：大阪府 職業：小学校教諭

協力隊に参加した理由：帰国後、日本の子どもたちに世界のことを伝えるため。

隊次：2021年度1次隊 職種：小学校教育 任地：アンズズルベ

活動内容：5～6校の小学校を巡回し、各校の先生といっしょに算数、理科、体育などの授業を行う。

